

Agile Japan 2020 online

プロジェクトマネジメントを極めようと「変わらず」想い続けていたら アジャイルに出会い、そしていま私はココにいてまだ旅の途中です。

～50代半ばを過ぎても「変わり続ける」あるオジサンの旅路～
(2020/11/17)

株式会社マネジメントソリューションズ

Digital事業部 ソリューション推進1部 シニアマネージャ 渡会 健

takeshi.watarai@msols.com

PMI日本支部 アジャイル研究会代表



IPA ITSS+（プラス）アジャイル領域策定WGメンバー



オンライン名刺



※ 本資料の一部、または全部の無断流用、再配布を禁じます



渡会 健（わたらい たけし）

株式会社マネジメントソリューションズ
Digital事業部 シニアマネージャ



オンライン名刺

PMI日本支部 アジャイル研究会代表



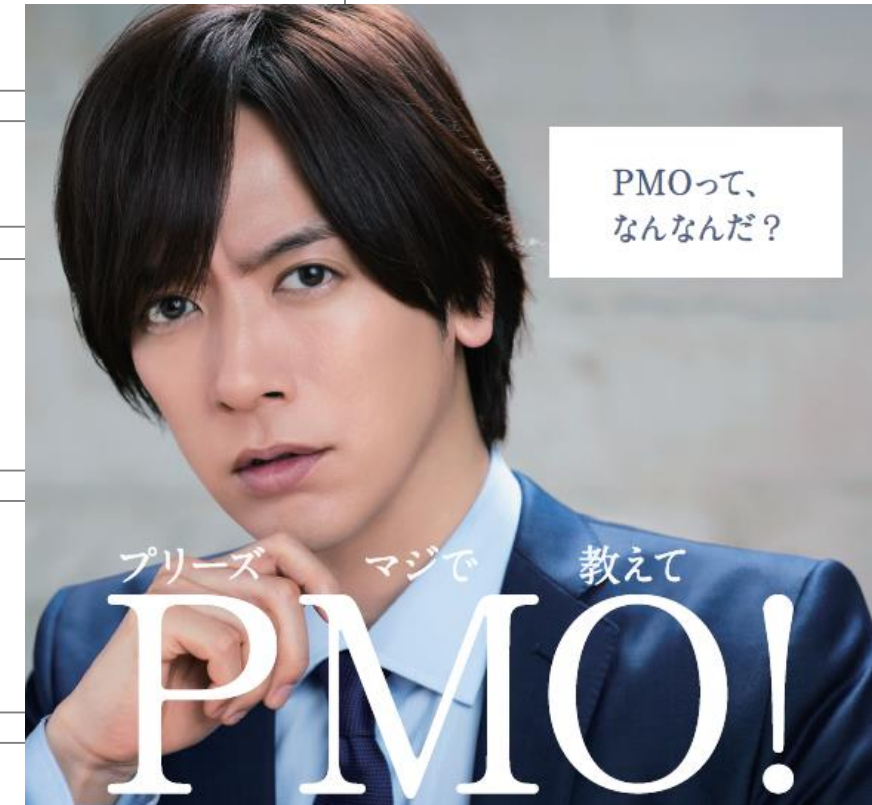
IPA アジャイルWG メンバー **IPA**

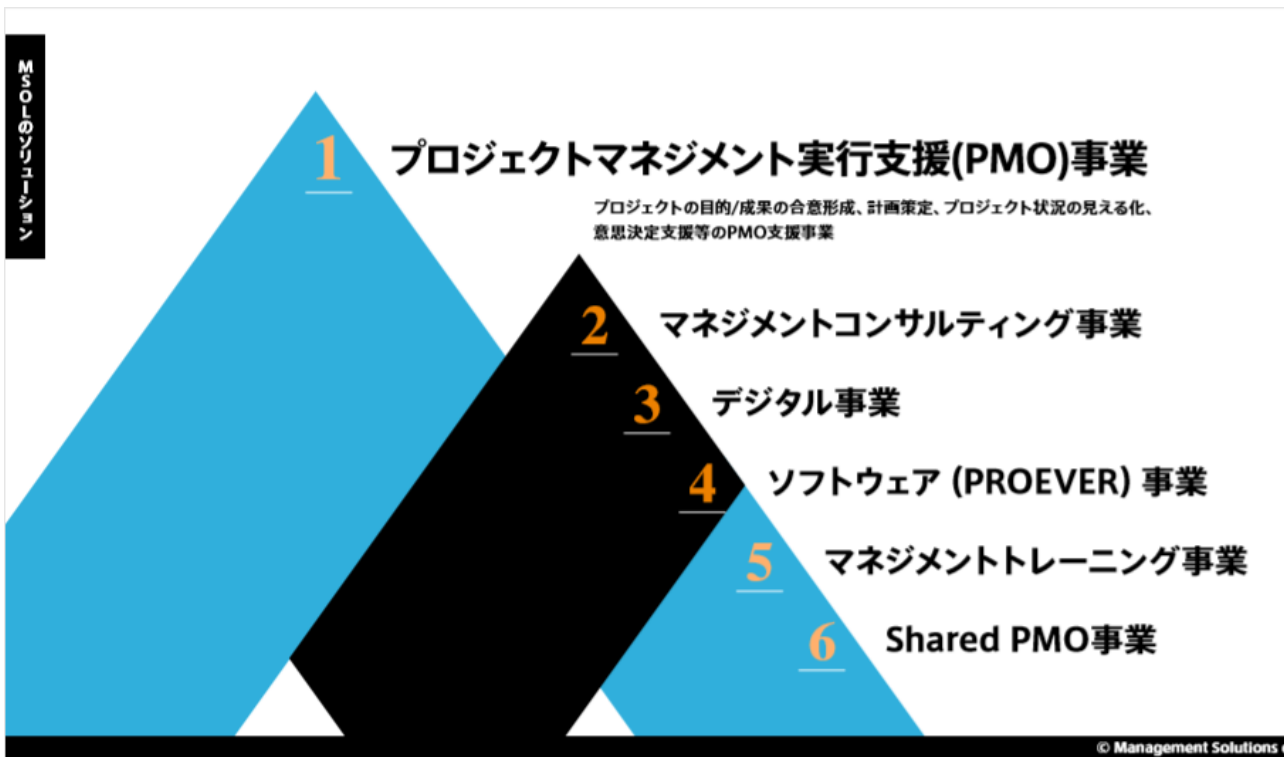
趣味：ゴルフ、サッカー観戦（レッズ）、写真（下手の横好き）

年齢55歳（サラリーマン生活の終盤？）

アジャイルジャパン様には縁あって5回目の登壇

社名	株式会社マネジメントソリューションズ（略称：MSOL）
設立	2005年7月 東証一部（2019年10月 上場）
本社	東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウンタワー29F
支社・子会社	国内 中部支社 海外 MSOL-TW（台湾法人） 麦嵩隆管理咨询（上海）有限公司（中国法人）
事業内容	マネジメントコンサルティング、 プロジェクトマネジメント実行支援、 マネジメントトレーニング
従業員数	277名（2020年10月期第一四半期終了時）
加盟団体	PMI日本支部 日本経済団体連合会（通称：経団連）





世界はいま、めまぐるしく変化し続けている。

日々、新しい常識が次々と生まれ、昨日までの常識は一瞬で陳腐化される。業務はどんどん膨大化・複雑化される一方、働き方改善や質の向上・効率を求められる。

一瞬でも気を抜けば、本質が何かすら見失ってしまいそうな現代。私たちは、その現状を打破できる唯一無二の手段が「マネジメント」だと、本気で信じている。

「マネジメント」という言葉や概念は、まだ世の中で完全に浸透していないかもしれない。

しかし、もう「マネジメントの時代」は確実にやってきている。

小さなプロジェクト単位のものもあれば、企業全体を動かすもの。日本を、そして世界を動かす規模のもの。大きさに言ってしまうと、世の中はすべて「プロジェクト」でできている。

そのひとつひとつのプロジェクトに、「マネジメントの力」で最後まで丁寧に寄り添い、支援し、成功に導く術を、私たちは知っている。

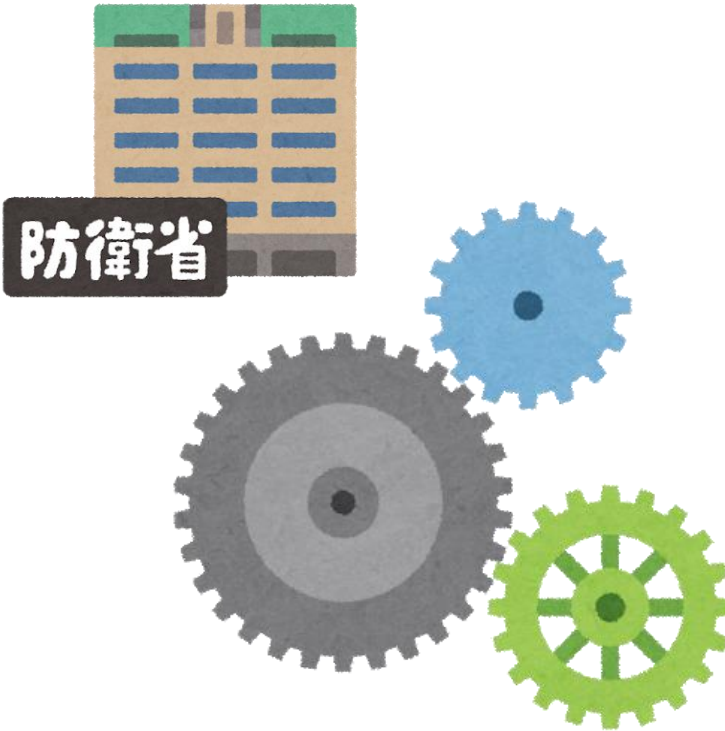
私たちは、マネジメントという武器を活かして、社会のあらゆる物事に対して最高のソリューションをパートナーとなるみなさまとともに生み続けていきたい。その先に、一人ひとりの幸せがつながっていく世界があることを信じて。

マネジメントを、世界を動かすエンジンに。

これからはITの時代！
どうせなら20年後くらいに宇宙
出張に行けるといいな…

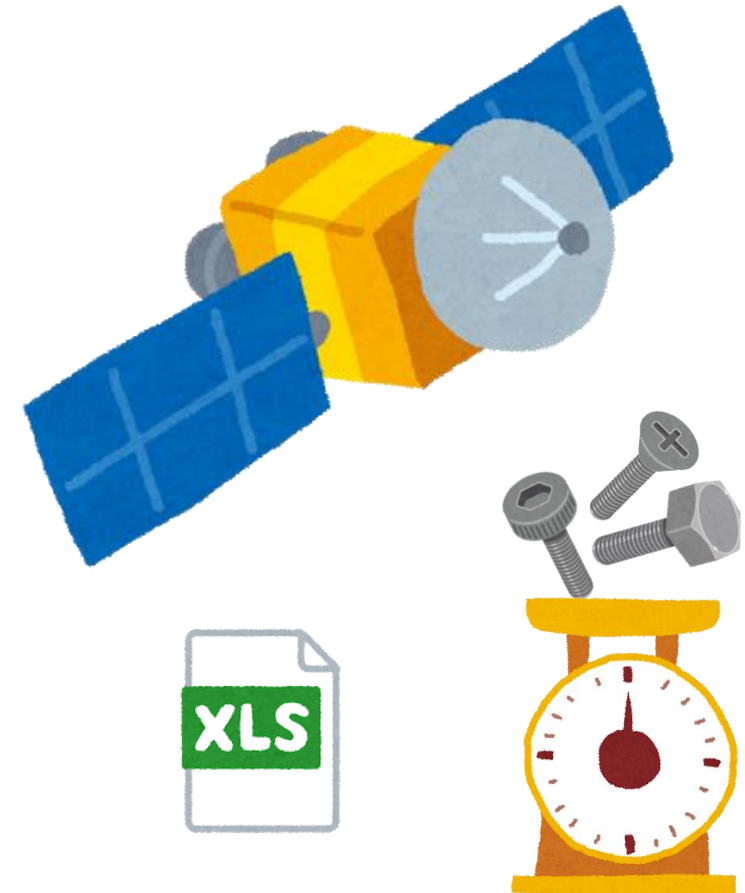
実際は、…

人工衛星の重量管理（非IT）



超電導を使った機械設計

やっと解放
されたと
思っても



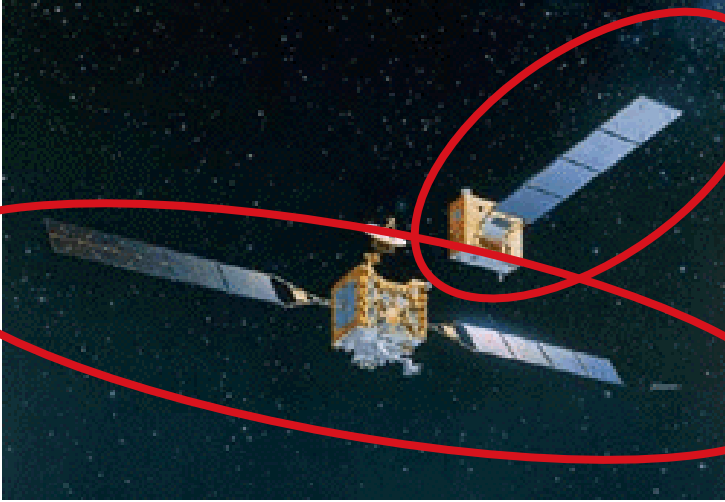
衛星運用の地上システムの開発







ただのプログラマーから発注側のプロマネとしていきなりデビュー



関わっていた衛星の運用でトラブルが！

衛星の統括プロマネの指揮のもと
百人以上のチームが一丸と
なって取り組み、見事解決！



その後、出向先事業所が主体
となった実験衛星のデータ解析
システムのプロマネを完遂！

本物のプロジェクトマネージャのすごさを知りました。
プロジェクトマネジメントに強い興味を抱き、本格的に
プロマネの道を歩み始めました。

プロジェクトの成功させて、
関わる人皆が笑っていられるようにしたい
でも一人でできることなんてたかが知れている
だったらプロジェクトマネジメントの力がきっと役
に立つのでは

出向から戻って、主にJAXAむけのシステム開発のプロマネを大小20弱件程実施。

多い時には7プロジェクト同時進行の時もありました。
(さすがに2つ失敗しました)

火消しプロジェクトにも何回か回され、そこらは何とか消し止めました。



沢山の現場をこなしました。
沢山の修羅場をくぐりました。
でも...



プロマネとしてのスキルを磨くため、
2005年にPMP資格を取得。

個人で頑張り続け、気が付けば3K状態（Black）に自ら陥ってしまっていました。



コンサル経験もないのに、40過ぎてコンサルファームに転職！

今思えば、結構無謀な転職でした。



でも、PMO支援を軸に、標準策定支援、BABOK研修コース作成支援等PM系コンサル経験を苦しみながらも順調に積んでいました。

でも、個人で頑張る働き方って結局前とあまり変わってない？



何て素晴らしい！楽しそう！！
これなら働き方を根本から変えられる！
関わる人皆が笑っていられるようにきっとできる！！





種をまき



仲間を作り



従来型PJでアジャイル
プラクティスを試し



チャンスを捉えて請負
でアジャイルを実践

失敗も多く大変だったけど、メンバーもお客様も含めて楽しく仕事ことができました。



Agile Japan 2013に一般参加。
その時間きたかった、「ほかの人た
ちはどう実践している？」
が少なかった。

だったら自分がしゃべっちゃえ！

ここから、怒涛のつながりの
輪が広がっていきました。

Agile Japan 2014 C-3セッション



アジャイル経験0から3年で3億以上を稼いだ道のり
～とある中小ソフトベンダーの請負アジャイル開発実績～

ase Advanced
Soft
Engineering

2014年6月27日
株式会社 アドヴァンスト・ソフト・エンジニアリング
技術開発部 マネージャー 渡会 健

2014～2018年 ひたすらアジャイル（そして活動の場が広がる）



Webシステムを中心に、様々な業界・業種で沢山のアジャイルプロジェクトを受託開発しました。（官庁・医療・ISP・金融・教育・自動車・放送・情報サービス等）

2014年にPMI日本支部アジャイル研究会に所属し、今では代表をさせていただいています。

アジャイル意識調査を6年継続して実施して公開中
https://www.pmi-japan.org/topics/lcop/agilepm_20200918.php



経験を問われて、アジャイルとPMBOK系の研修講師も仕事として行うようになりました。

Agile Japanを中心にいろんなところで発表させていただけるようになりました。



IPAのアジャイルワーキンググループとして、ITSS+アジャイル領域を策定しました。（現在も活動中）



<https://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/itssplus.html#section1-4>

1 アジャイル開発へのスキル変革の指針/本ドキュメントの位置づけ ねらいとドキュメント構成 概要と想定読者・留意点 WGメンバー	2 アジャイルソフトウェア開発宣言の読みとみ方 アジャイルソフトウェア開発宣言と背後にある原則 アジャイルソフトウェア開発宣言に対する誤解と真意 アジャイル宣言の背後にある原則の読み方	3 ビジョンとプロダクトの検証 プロダクト責任者 プロダクト企画 プロダクト設計開発を導く プロダクト進化	4 アジャイル開発の進め方 アジャイル開発のプロセス アジャイル開発のプロセス（スクラム）の例 アジャイル開発の進め方の特徴 役割（ロール）の特徴（スクラムの例） 開発の進め方と役割（ロール）の関連 アジャイル開発チームのつくり方 アジャイル開発チームのつくり方のスキル一覧 参考文献 <参考1>ウォーターフォール型ロールとアジャイル型ロールの比較表 <参考2>アジャイル開発の概念整理
5 なぜ、ITSS+アジャイルが必要か？ 社会の状況と問題を理解する アジャイルとの付き合い方	アジャイルソフトウェア開発宣言の背後にある原則 原則1・原則12	参考文献一覧<メンバー推薦>（入門レベル/実践レベル/関連テーマ）	

ITSS+ / アジャイル開発へのスキル変革の指針の構成

活動の場が広がり過ぎて、中小Sierのマネージャの仕事から外れてきたな～







やりがいがありました。

お客様のお役に立てていたかもしれないけど

個人の力ではなく、マネジメントの力で
何とか状況を打開したい。



マネジメントソリューションズのMission

Managementの力で、 社会のHappinessに貢献する

個人ではなく、マネジメントで状況を
打開できるようなチームを作りたい

そして普通のオジサン達が普通にアジャイルも
実践できる世の中に近づきたい

具体的なゴールはまだ見えていません。でも会社の
協力を得ながら今も模索し前進しています。

一緒にチームを
作る仲間を



MSOLアジャイル支援メニュー

3つの支援とその相乗効果で
効果的な支援を提供します

チーム運用支援

- ① アジャイルコーチ
- ② アジャイルプロセス改善支援
- ③ チーム立ち上げ支援
etc.

豊富なアジャイル開発実践経験に基づくノウハウにて
教科書的ではない実践的なサポートを実施

あるべき論だけではなく、どうしたら実効的な成果を上
げられるかという視点で、アジャイルだけに拘りません

組織適用支援

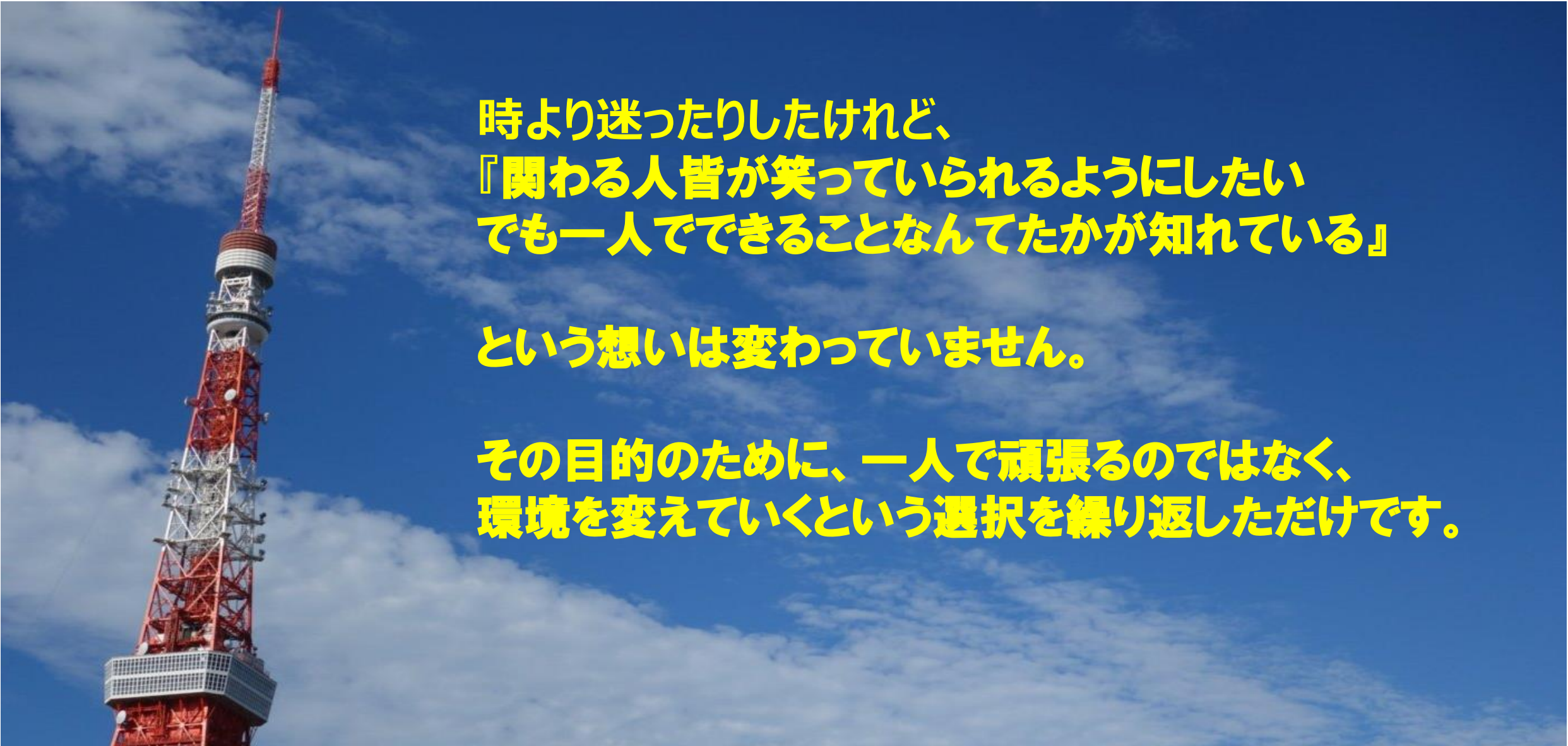
- ① 組織への導入・定着
- ② アジャイルPMO
- ③ ガイドライン作成支援
etc.

ディシプリンド・アジャイル（DA）をベース
プロジェクトマネジメント協会（PMI）が
アジャイルに本格的に取り組むために取り込んだ
ビジネスやプロジェクトの環境にあわせてスケーリング
する際の意思決定支援ツールキットです

人財育成支援

- ① 基礎研修コース
- ② 中級研修コース
- ③ 実践演習コース

【基礎】いまさら聞けないアジャイルの実際～最新動向とともに～【2hr】
【基礎】アジャイルマインドとアジャイルの実践基礎【1day】
【中級】マネジメント視点でみたプロダクトオーナーのお仕事【1day】
【中級】マネジメント視点でみたスクラムマスターのお仕事【1day】（開発中）
【中級】マネジメント視点でみた開発チームのお仕事【1day】（開発中）
【実践演習】アジャイルチーム実践演習【2～3 day】（開発中）



時より迷ったりしたけれど、
『関わる人皆が笑っていられるようにしたい
でも一人でできることなんてたかが知れている』

という想いは変わっていません。

その目的のために、一人で頑張るのではなく、
環境を変えていくという選択を繰り返しただけです。

環境はいつでも変えられる

変わらぬ想い（勇気）さえあれば、いつでも変えられるはず

そのための準備（努力）は常に怠らない

※ 環境を変える＝転職 ではありません

**Boys, be ambitious
like this old man**

**少年よ、大志を抱け
この老人の如く**



マネジメントを、世界を動かすエンジンに。

株式会社マネジメントソリューションズ

Digital事業部 ソリューション推進1部 シニアマネージャ 渡会 健

takeshi.watarai@msols.com



オンライン名刺

PMI日本支部 アジャイル研究会代表



IPA ITSS+（プラス）アジャイル領域策定WGメンバー **IPA**

※ 本資料の一部、または全部の無断流用、再配布を禁じます